

TV運用に関するレポート

最近のレポートの中から、TVに関するものをひろってみましょう。

JA5YCZ = 新居浜高専アマチュアテレビ局は、昭和41年11月28日に落成検査を終え、本免許。

JA1AKA = 地上高12mの12エレ2段スタック・アンテナでオン・エアしています。また、昭和41年11月2日付でカラーTVの免許も下りました。方式はNTSC方式で出力は10W。連絡をいただければ、アンテナを向けます。

TV受信記録更新 = JA2YEF-TVの電波をJA2CRG局で受信。その距離は16km。

JA1YUQ = 日大文理学部物理研究会無線班は昭和41年10月28日、開局。

JA5YCQ = 高知大学アマチュア無線クラブは、昭和41年3月免許が下りました。

JA5BYJ = TV免許が下りました。

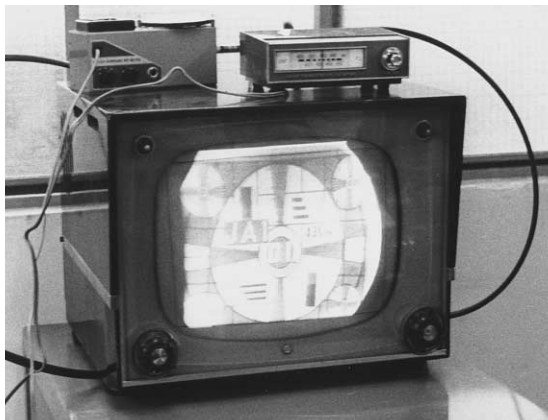
JA1YNZ = TV免許が下りました。TVの2Way QSOに成功しています。

JA4JK = 広島クラブにTV免許が下りています。

JA6BND/1 = 一の瀬さんはJA-TVの草分けです。

東京電機大学アマチュア無線クラブ = TVについて、最も古い歴史があります。

JA1DI = 東京でもっともアクティブなTV局で、立派な電波が出ています。



JARL事務局で受信したJA1DI局のテスト・パターン

オーストラリア52Mcで多数入感

東大宇宙航空研究所では、4月6日1120に再び鹿児島県内之浦基地からL4S-3号ロケットを打ち上げると発表しました。

3度目の正直でソ連、アメリカ、フランスに続いての第4の人工衛星打ち上げ国になれるかどうか、興味あるところです。今まで2回の失敗原因もいろいろいわれていますが、今度こそ成功してもらいたいものです。

第1回目の失敗は、2段目ロケットのカラーの切り離しがうまくゆかず、3段目ロケットと2段目ロケットがぶつかりあい、コースがはずれてしまいました。

第2回目は、最終段である4段目の球形ロケットへの点火に失敗し、規定の加速7.85kmのスピードが得られなかったため、弾道曲線を描き落下したといわれています。

また2月18日～末日まで、52McでVK - JAのQSOが多数でき、50Mcバンドも急に活気づいてきた感じがします。VKとのルートは午後が多いようですが、南米および北米とは朝です。3月から5月にかけて午前5時～7時、9時～10時頃50Mcバンドの下端をたんねんにワッチすることも、けっして無駄ではないと思います。思わぬ大物が釣り上がるかもしれません。

JA1IGYマーカ51.99Mcへ

かねてよりJA1IGY局の送信周波数50.5McのQSU UPが望まれていましたが、JARLでは4月1日より周波数51.99McへのUPを決定しました。これによりVK - JA QSOのよいマーカになると思います。

郵政省関東電波監理局第2監視所の測定では、JA1IGYの周波数51.99Mcに対して51.995Mcとなっていますが、近日中、周波数が落ち着いたところで再度精密に測定される予定です。なお、JA4IGY、JA6IGY、JA9IGYの送信周波数は従来どおり50.5Mcで変わりありません。

「CQ誌3月号の特集中、50Mcの主な交信記録としてJA - VK9の1st QSOが昭和33年3月29日となっていま